

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立白子高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域から愛され応援される、誇りを持った生徒を育てる学校 ○ 学力向上と進路実現を図り、自立した生徒を育てる学校 ○ 互いの人権を尊重し、心豊かな生徒を育てる学校
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共に支え合いながら、地域社会のために貢献できる生徒 ○ 自分で考え、行動し、主体的に生きることができる生徒 ○ お互いを認め合い、豊かな人間関係を築くことができる生徒
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協働して教育課題に取り組む教職員 ○ 説明責任を果たすことができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>《生徒》</p> <p>①安心・安全で活気のある学校生活 ②学力の伸長 ③希望する進路の実現</p> <p>《保護者（各家庭、PTA）》</p> <p>①安心・安全で、規律ある学校生活 ②基礎学力の修得 ③希望する進路の実現</p> <p>《地域》</p> <p>地域を支える人材の育成、地域の活性化、災害時の防災機能</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	保護者（PTA）		保護者（PTA）
	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な学校、情報の共有 ○規律ある学校生活の維持 ○学力の向上、進路実現 		<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動についての共通理解 ○学校・家庭の連携と役割分担の確立 ○親子間の豊かなコミュニケーション
	地域住民（自治会）		地域住民（自治会）
	<ul style="list-style-type: none"> ○防災機能の強化、地域との連携 ○地域の活性化のための協力・交流 		<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動への理解と支援 ○防災についての情報共有
中学校		中学校	
<ul style="list-style-type: none"> ○学力・体力の向上、特別活動（部活動・学校行事等）の充実 ○キャリア教育の推進、進路の実現 		<ul style="list-style-type: none"> ○中高の相互理解と緊密な連携 ○本校への理解と適切な進路指導 	
大学、事業所、NPO等		大学、事業所、NPO等	
<ul style="list-style-type: none"> ○マナー、コミュニケーション力の育成 ○基礎学力の定着 		<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育充実のための連携強化 ○求人数の増加 	
(3) 前年度の学校関係者評価など			
<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で実施できる避難訓練を行ってきた。本来の避難訓練に戻す必要がある。 ○生徒の規範意識は、高いものの、以前より下降気味にある。校則の変化に合わせながらも、生徒の規範意識向上が必要である。 ○学校の課題と情報を共有する方法について、全員で集まる機会ではなく、部会・学年会・企画委員会などを活用する方法へ切り替える必要がある。 ○保護者・地域との連携の一つのツールとして、HPのリニューアルを行ったが、更新内容に偏りがあるため、多くの教員が更新の意識をもつ必要がある。 ○ICTの活用は、ますます求められるようになる。生徒の活用について、次年度は指標などを設定する必要がある。 			
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で縮小していた避難訓練等の行事活動について、その効果を踏まえて実りのあるものとして取り組むべきである。 ○ICT活用について、授業を含めて効果的な活用方法などの研修を充実させることで、生徒の学習向上につなげることが必要である。 ○SNS上でのトラブルが増えている中、ICTを活用する中でマナーとリスクマネジメントを継続してしっかりと教育していくことが必要である。 	

学校 運営など	<p>○ホームページが興味を持ちやすく改善されたので、今後の情報提供等の更新時においても、遅滞なく情報をまんべんなく発信していく。また、それに合わせて、情報を提供するターゲット毎に他の手段も検討していく。</p> <p>○働きやすい職場環境づくりについて、教職員がゆとりをもって業務が行えるように少しでも改善していく。</p> <p>○校舎を含めて、備品などの老朽化が目につくため、それらの更新を進めていくことで学習環境の改善につながっていく。</p> <p>○保護者の経費負担削減については常に考えていく事柄であるので、修学旅行の行先等について見直しを進める必要がある。</p> <p>○概ねの目標を達成していると感じられることから、新しい視点も取り入れながらステップアップを考えた目標設定をし、教育活動をさらなる発展につなげてほしい。</p>
------------	---

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○ 生徒が主体的に学ぶ力を育てるため、ICT 機器の活用を含めた授業改善や学習支援を進める。</p> <p>○ 生徒の学力等に関する実態把握を推進・共有し、授業改善や学習支援を進める。</p> <p>○ 生徒が明確な進路意識を持ち、生きる力を身につけるよう、キャリア教育の推進に取り組む。</p> <p>○ 生徒が安心して生き活きと学べるよう、人権感覚あふれる学校づくりを進めるとともに、授業をはじめ学校行事や部活動に主体的に取り組む生徒の育成に努める。</p>
学校運営など	<p>○ 信頼される学校であるための行動計画に基づいた教育活動を進め、信頼の構築を図る。</p> <p>○ 各部署の活動内容や手続きの見える化を進めて連携を深め、組織力を高める。</p> <p>○ 職員相互公開の授業研究等や観点別評価の研究を進め、「主体的・対話的で深い学び」を推進する。</p> <p>○ 安心・安全の学校づくりのための仕組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の完全下校時刻の設定による、生徒・職員の安心・安全、健康の確保を行う ・ 防災訓練の充実、安全点検の強化、施設・設備の充実を図る。 ・ 社会に開かれた教育課程の実現を目指し、家庭・地域との連携を進める。

4 令和5年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学力の向上と定着	<p>(1) 外部指標を活用して生徒の学習における課題を把握し、対応策を講じる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎力診断テストを1・2学年で3回実施。 ・ 各学年及び3教科で、上記テストを資料とした中間振り返り及び年度末総括の実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎力診断テストで前年度評価の維持(同じものを利用するため、共通の指標(GTZ)が示されることを活用する)。 <p>(2) ICTを活用した教育を推進する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程委員会及び情報教育推進委員会における検討及び教科・学年・分掌による組織的な取組の検討。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動採点ソフトの定着 		

<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1) 3年間を見通した、総合的な探求の時間を中心とする系統的な進路学習を推進する。(進路)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づいた『総合的な探究の時間』でキャリア教育を推進する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおいて、キャリア教育が充実していると答えた生徒の割合 85%以上 <p>(2) 進学・就職試験で面接等を含め、総合的な力が必要な生徒への指導の充実を図る。(進路)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生への面接指導の実施(就職希望者7回以上、進学希望者2回以上) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験(1次)での内定率 85%以上 ・進路希望調査に書かれた志望校への合格率 85%以上 		
<p>安心・安全で活気ある学校生活</p>	<p>(1) 安心して通学できる安全な環境整備を図る。(保健)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県の示すガイドラインに基づく安心・安全な環境・体制づくり。 ・生徒・保護者に対し適切なタイミングでの意図的な情報発信を行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行 年間8回以上 ・学校アンケートにて、「安心して学校に通える」と答えた生徒の割合が90%以上 <p>(2) 多様な生徒に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員、発達障害支援員、スクールソーシャルワーカーなどを適切に活用し、学校として組織的な指導を行う。また、いじめ防止に向け、学校全体で具体的な取り組みを行う。(生徒指導、保健)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー・教育相談・特別支援コーディネーターを活用 ・生徒指導部・保健部の連携及び、各学年保健係・生徒指導係との連携を実施。 ・いじめアンケートの実施 ・いじめ防止のためのキャッチフレーズを各クラス1つ以上挙げ、学校全体で取り組む。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにて、「安心して学校に通える」と答えた生徒の割合が90%以上 ・学校アンケートにて、「学校に悩みを相談する場所(人)がある。」と答えた生徒の割合が90%以上 		

	<p>(3) 「生きる力」の基礎となるルールやマナー、コミュニケーション能力を身につけ主体的に行動できる生徒を育てる。(生徒指導・生徒会、各学年)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に規律ある学校生活を送るための、挨拶を中心とした生徒指導の実施。 ・ICTの安全・安心な利用を学ぶ講座を年1回実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートで、「規範意識が身についた」と答えた生徒割合97%以上 <p>(4) 命の大切さに係る教育を系統的に実施し、生徒の安全と健康を守る。(総務・人権教育推進委員会)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「命を大切に教育」の系統的な計画表の見直しと校内共有の徹底 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにて、「本校は、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切に教育する指導をおこなっている。」と答えた生徒の割合が90%以上 <p>(5) 大規模災害に備え、避難先・避難経路の確認及び点検、訓練を行う。(総務)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次避難訓練・2次避難訓練の実施 特に1次避難訓練については、完全形態で実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の訓練参加90%以上 ・避難訓練の大切さを理解した生徒90%以上 		
改善課題			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織的な教育活動	<p>(1) 学校の課題と情報を共有し、学校全体での取組を進めるため、全員研修会を実施する。(品質向上委員会)</p> <p>【活動指標】 年1回以上の開催</p> <p>【成果指標】 次年度にむけた提案を職員会議へ提出</p>		

<p>授業の改善 と充実</p>	<p>(1)「基礎力診断テスト」の分析と共有を通して授業力の向上を図る(教務、学年)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析報告会を年2回以上開催 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートによる生徒の授業満足度75%以上 <p>(2)新学習指導要領の3観点(基礎的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育み、学びに向かう力を涵養する)に対応した、わかりやすく学習意欲を引き出すための授業の工夫を進める。(教務 教育課程委員会)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員相互授業公開を年2回実施 ・教科担当者による授業アンケートの実施 ・ICTを活用した授業の実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートで、生徒が意欲的に取り組むよう授業を工夫していると感じた生徒の割合が、80%以上。 ・ICTを活用した授業を実施した教員の割合が70%以上。 <p>(3)新学習指導要領の3観点に対応した評価の実施を行う。また評価のあり方を共有し検討を行う。(教務 教育課程委員会)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で観点別評価を実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施後の検討を年1回以上実施する。 		
<p>保護者・地域 との連携 及び 信頼の構築</p>	<p>(1)保護者との連携を進め、信頼を構築するため、生徒の状況や学校の対応などを適切に周知する</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPで校内の様子を発信する(学校行事・特色ある授業・部活動等) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事終了後、2日以内のHP掲載 ・全ての科・コースからの情報発信 ・全てのクラブの情報更新 <p>(2)地域との連携を図り、信頼を構築するため、学校や生徒の取り組みをわかりやすく伝える方法を検討する</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまめなHPの更新、特色ある取り組みの報道機関への資料提供 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新回数 年間45回以上、報道機関への資料提供年間8回以上 		
<p>働きやすい 職場環境 づくり</p>	<p>(1)信頼される学校であるための行動計画を実施するための具体的な取組を検討し、計画に反映する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼向上委員会での検討を3回以上 ・コンプライアンスセルフチェックの見直し ・定期的なコンプライアンスセルフチェックの実施 		

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートで「教職員は、専門的な知識が豊富で、授業内容が信頼できる。」及び「教職員は、生徒が相談したときに、親切に応じてくれる。」及び「教職員は、生徒達の進路希望実現に向け熱心に取り組んでいる。」の各項目で、満足度 80%以上 <p>(2) 三重県部活動ガイドラインに沿った適切な部活動の実施、及び働き方の改善を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月全部活動が活動計画書を作成、提出 ・定時退校日に定時に退校できた職員の割合 70%以上 ・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 100% ・放課後開催された会議が、60分以内に終了する割合を60%以上 ・夏季休業中に学校閉校日を2日設定 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間を、一人あたり月に13時間以下 ・年360時間を超える時間外労働者数 0人 ・月45時間を超える時間外労働者数 0人(延べ人数) ・一人当たりの年間休暇取得日数16日以上 <p>(3) 共有備品の見直しや点検を行う</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属不明物品の整理整頓 ・備品の点検、更新 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型式の古い備品の新規入れ替え3種類以上 		
<p>事務職員と教員の連携による学校運営</p>	<p>事務職員と教員が連携できる環境づくりを進める。</p> <p>(1) 高品質な業務の提供 昨年、環境を整えた事務職員向けの情報共有フォルダや情報機器等の利活用による業務効率化・生産性の向上に努めるとともに、引続き、情報共有等の強化を図る。 業務効率化・生産性の向上のため情報機器等の利活用による情報共有等の強化を図るとともに、その環境整備を行う。</p> <p>(2) 適切な事務処理の実施 チェック機能の強化・充実を図るとともに、報告・相談しやすい風土づくりに努める。</p> <p>(3) 来校者等の立場に立った接客対応(相手が安心する窓口・電話対応)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室等の情報共有等の方策の検討 ・主務者が相手側の立場に立った資料作成等を徹底し、主務者以外の職員によるチェックを確実に実施するとともに、ハウレンソウの日常化の徹底 ・事務職員・教員は窓口・電話対応時に相手方の表情や声の調子等にも気を配った対応を実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有フォルダ活用の意識の向上 ・不適切な対応による重大な危機の発生: 0件 ・生徒・保護者・来校者等からの事務対応にかかる苦情件数が0件 		

改善課題

5 学校関係者評価

明らかになった
改善課題と次へ
の取組方向

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ
いての改善策

学校運営につ
いての改善策

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立白子高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	○ 地域から愛され応援される、誇りを持った生徒を育てる学校
	○ 学力向上と進路実現を図り、自立した生徒を育てる学校
(2) 育みたい 児童生徒像	○ 互いの人権を尊重し、心豊かな生徒を育てる学校
	○ 共に支え合いながら、地域社会のために貢献できる生徒
	○ 自分で考え、行動し、主体的に生きることができる生徒
ありたい 教職員像	○ お互いを認め合い、豊かな人間関係を築くことができる生徒
	○ 協働して教育課題に取り組む教職員
	○ 説明責任を果たすことができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を 提供する相手 とそこからの 要求・期待	《生徒》 ①安心・安全で活気のある学校生活 ②学力の伸長 ③希望する進路の実現
	《保護者（各家庭、PTA）》 ①安心・安全で、規律ある学校生活 ②基礎学力の修得 ③希望する進路の実現
(2) 連携する相手 と連携するうえ での要望・期待	《地域》 地域を支える人材の育成、地域の活性化、災害時の防災機能
	連携する相手からの要望・期待
	保護者（PTA） ○安全・安心な学校、情報の共有 ○規律ある学校生活の維持 ○学力の向上、進路実現
	地域住民（自治会） ○防災機能の強化、地域との連携 ○地域の活性化のための協力・交流
	中学校 ○学力・体力の向上、特別活動（部活動・学校行事等）の充実 ○キャリア教育の推進、進路の実現
(3) 前年度の学校 関係者評価など	連携する相手への要望・期待
	保護者（PTA） ○教育活動についての共通理解 ○学校・家庭の連携と役割分担の確立 ○親子間の豊かなコミュニケーション
	地域住民（自治会） ○教育活動への理解と支援 ○防災についての情報共有
	中学校 ○中高の相互理解と緊密な連携 ○本校への理解と適切な進路指導
	大学、事業所、NPO等 ○マナー、コミュニケーション力の育成 ○基礎学力の定着
	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づき、キャリア教育プログラムなど本校教育の根幹にかかわる計画を検証し見直していく必要がある。 ・安全安心な学校づくりや生徒の規範意識の向上については、今後も高い目標を掲げて粘り強く取り組んでいくことが必要である。 ・社会に開かれた学校づくりはもちろん授業改善の観点からも、授業公開や授業アンケートは重要である。 ・学校の情報発信については、HPの改善などを1つずつ改善していくほうが良い。 ・働き方改革については属人化の解消が重要である。業務を分担し責任と権限を委譲して、学校運営が円滑に進めていける組織づくりが必要である。 ・来年度特に注力すべきは、ICTを活用した基礎学力向上、公開授業や授業改善、働き方改革の3つである。

(4) 現状と課題	教育活動	<p>○生徒は、気持ちのよい挨拶ができ、服装・頭髪を整えるなどルールやマナーを守って規律ある学校生活を送っている。今後もこれを維持することが必要である。</p> <p>○基礎的な知識・技能の習得はある程度進んでいる。これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むことが必要である。</p> <p>○多くの生徒は同調性が強く穏やかな人間関係を作ることができる。今後は多様な人々との協働を可能とするような、さらに深いコミュニケーション能力を培う必要がある。</p> <p>○生活創造科や普通科文化教養コースを中心に、多様な表現や鑑賞の活動等を通して豊かな心や創造性の涵養を目指した教育が実施されているが、学校全体として道徳教育の充実とも関連付けてさらに推進していく必要がある。</p>
	学校運営など	<p>○安心・安全で規律があり、活気ある学校生活が送れるよう、特別活動、生徒指導面をはじめ、教職員一人ひとりが熱心に教育活動に取り組んでいる。</p> <p>○教職員間の意思疎通と情報共有を密にし、ベクトルを一つにすることで、同僚性を高め、組織的な教育活動を推進することが望まれる。</p> <p>○家庭や地域、中学校等への情報発信を積極的に行う必要がある。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○生徒が主体的に学ぶ力を育てるため、ICT機器の活用を含め授業改善や学習支援を進める。</p> <p>○生徒の学力等に関する実態把握を推進・共有し、授業改善や学習支援を進める。</p> <p>○生徒が明確な進路意識を持ち、生きる力を身につけるよう、キャリア教育の推進に取り組む。</p> <p>○生徒が安心して生き活きと学べるよう、人権感覚あふれる学校づくりを進めるとともに、授業をはじめ学校行事や部活動に主体的に取り組む生徒の育成に努める。</p>
学校運営など	<p>○信頼される学校であるための行動計画に基づいた教育活動を進め、信頼の構築を図る。</p> <p>○各部署の活動内容や手続きの見える化を進めて連携を深め、組織力を高める。</p> <p>○職員相互公開の授業研究等や観点別評価の研究を進め、「主体的・対話的で深い学び」を推進する。</p> <p>○安心・安全の学校づくりのための仕組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも安心・安全な学校生活がおくれるよう、感染防止対策や生徒の心のケアなど適切な対応を行う ・生徒の完全下校時刻の設定による、生徒・職員の安心・安全、健康の確保を行う ・防災訓練の充実、安全点検の強化、施設・設備の充実を図る。 ・社会に開かれた教育課程の実現を目指し、家庭・地域との連携を進める。

4 令和4年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学力の向上と定着	<p>(1) 外部指標を活用して生徒の学習における課題を把握し、対応策を講じる。(教務)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストを1・2学年で3回実施。 ・各学年3教科で、上記テストを資料とした中間振り返り及び年度末総括の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストにおける前年度評価の維持(同業者のものを利用するため、共通の指標が示されることを活用する(GTZ))。 <p>(2) ICTの活用を通じ、主体的に学ぼうとする力を育てる教育を推進する。(教務 教育課程委員会 情報教育推進委員会 総務図書)</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り、基礎力診断テストを1・2学年で3回実施。 ・各学年3教科で、上記テストを資料とした中間振り返り及び年度末総括の実施。教員で共有した。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動採点ソフトについて、試験的導入を進めた。 ・ICTを活用した授業を実 	

	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程委員会及び情報教育推進委員会における検討及び教科・学年・分掌による組織的な取組の検討。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動採点ソフトの試験的導入 ・ICTを活用した授業を実施した教員の割合が70%以上。 	<p>施した教員 95%</p>	
<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1) 3年間を見通した、総合的な探求の時間を中心とする系統的な進路学習を推進する。(進路)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間の年間計画に基づくキャリア教育の推進 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおいて、キャリア教育が充実していると答えた生徒の割合 85%以上 <p>(2) 進学・就職試験で面接等総合的な力が必要な生徒への指導の充実を図る。(進路)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生への面接指導の実施(就職希望者7回以上、進学希望者2回以上) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験(1次)での内定率 85%以上 ・進路希望調査に書かれた志望校への合格率 85%以上 	<p>(1)</p> <p>状況の変化に応じ適宜修正を加えながら、計画どおり推進できた。</p> <p>キャリア教育の満足度 91.2%</p> <p>(2)</p> <p>面接指導回数(平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職 9.0回 ・四年制大学 5.7回 ・短期大学 7.3回 ・専門学校 2.8回 <p>内定・合格率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験1次内定率 90.9% 50/55人 ・進学受験志望校合格率 87.2% 130/149人 	
<p>安心・安全で活気ある学校生活</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点に基づき、安心して通学できる安全な環境整備を図る。(保健)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県の示すガイドラインに基づく安心・安全な環境・体制づくり。 ・生徒・保護者に対し適切なタイミングでの意図的な情報発信を行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行 年間8回以上 ・学校アンケートにて、「安心して学校に通える」と答えた生徒の割合が 90%以上 <p>(2) 多様な生徒に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員、発達障害支援員、スクールソーシャルワーカーなどを適切に活用し、学校として組織的な指導を行う。また、いじめ防止に向け、学校全体で具体的な取り組みを行う。(生徒指導、保健)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー・教育相談・特別支援コーディネーターを活用 ・生徒指導部・保健部の連携及び、各学年保健係・生徒指導係との連携を実施。 ・いじめアンケートの実施 ・いじめ防止のためのキャッチフレーズを各クラス1つ以上挙げ、学校全体で取り組む。 <p>【成果指標】</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気・手洗い・黙食の徹底の呼びかけを何度もおこなった。また、各教室へ手指消毒用のアルコールやサーキュレーターを置き、感染予防に努めた。 ・保健だよりを12回発行している。(R5.1現在) ・安心して学校に通えると答えた生徒 93.2% <p>(2)</p> <p>教育相談の係と養護教諭を中心に心のケアに務めた。生徒だけではなく、保護者や教員のカウンセリングもおこなった。また、校内のみならず、校外の方々とも協力しておこなっている。</p> <p>いじめ防止については、学期ごとのアンケートに加え、いつでもネットで書き込めるシステムを作った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/17, 11/17, 2/13 いじめアンケート実施実施 ・キャッチフレーズを決定 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにて、「安心して学校に通える」と答えた生徒の割合が90%以上 ・学校アンケートにて、「学校に悩みを相談する場所（人）がある。」と答えた生徒の割合が90%以上 <p>(2) 「生きる力」の基礎となるルールやマナー、コミュニケーション能力を身につけ主体的に行動できる生徒を育てる。 (生徒指導・生徒会、各学年)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に規律ある学校生活を送るための、挨拶を中心とした生徒指導の実施。 ・ICTの安全・安心な利用を学ぶ講座を年1回実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートで、「規範意識が身についた」と答えた生徒割合97%以上 <p>(3) 命の大切さに係る教育を系統的に実施し、生徒の安全と健康を守る。(総務・人権推進委員会)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「命を大切に教育」の系統的な計画表の見直しと校内共有の徹底 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにて、「本校は、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切に教育している」と答えた生徒の割合が90%以上 <p>(4) 大規模災害に備え、避難先・避難経路の確認及び点検、訓練を行う。(総務)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次避難訓練・2次避難訓練の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の訓練参加90%以上 ・避難訓練の大切さを理解した生徒90%以上 	<p>し、いじめ防止ポスターを掲示した。</p> <p>アンケートで、「安心して学校に通える」と回答した生徒93.2%「学校に悩みを相談する場所（人）がある。」と回答した生徒87.1%「相談したときに、親切に応じている」と回答した生徒91.6%</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員による挨拶運動(5月、10月実施) ・一年を通じ、登校指導を実施。 <p>ICTを学ぶ講座 全学年で1回。一年生は追加で1回実施。</p> <p>「規範意識が身についた」と答えた生徒 93.7%</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を見直し、年間を通じ、必要に応じた人権学習の実施。 <p>「本校は、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切に教育している」と回答した生徒91.5%</p> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に2次避難訓練、9月に1次避難訓練実施 ・出勤している教員全員の訓練参加 ・出席した生徒前任の訓練参加
--	--	--

改善課題

- ・コロナ禍で実施できる避難訓練を行ってきた。本来の避難訓練に戻す必要がある。
- ・生徒の規範意識は、高いものの、以前より下降気味にある。校則の変化に合わせながらも、生徒の規範意識向上が必要である。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
----	---------	----	----

組織的な教育活動	<p>(1) 学校の課題と情報を共有し、学校全体での取組を進めるため、全員研修会を実施する。(品質向上委員会)</p> <p>【活動指標】 年1回以上の開催</p> <p>【成果指標】 次年度にむけた提案を職員会議へ提出</p>	<p>(1)</p> <p>品質向上委員会 6回開催</p>	
授業の改善と充実	<p>(1) 「基礎力診断テスト」の分析と共有を通して授業力の向上を図る(教務、学年)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分析報告会を年2回以上開催 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートによる生徒の授業満足度75%以上 <p>(2) 新学習指導要領の3観点(基礎的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育み、学びに向かう力を涵養する)に対応した、わかりやすく学習意欲を引き出すための授業の工夫を進める。(教務 教育課程委員会)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員相互授業公開を年2回実施 教科担当者による授業アンケートの実施 ICTを活用した授業の実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートで、生徒が意欲的に取り組むよう授業を工夫していると感じた生徒の割合が、80%以上。 ICTを活用した授業を実施した教員の割合が70%以上。 <p>(3) 新学習指導要領の3観点に対応した評価の実施を行う。また評価のあり方を共有し検討を行う。(教務 教育課程委員会)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科で観点別評価を実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施後の検討を年1回以上実施する。 	<p>(1)</p> <p>予定通りに分析報告を各回について行った。</p> <p>(2)</p> <p>11月に職員相互また保護者代表等参加の授業公開を実施した。授業アンケートも7月に実施し、満足度は5点満点中4.45点であった。自動採点ソフト含め、教員相互に活用方法の情報交換を実施。GIGAスクールサポーターによる研修会など実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が意欲的に取り組むよう授業を工夫していると感じた生徒89% ICTを活用した授業を実施した教員95% <p>(3) 観点別評価を実施し、成績処理も滞りなく完了した。各教科に評価についての情報共有を依頼し、教科で実施。</p>	
保護者・地域との連携及び信頼の構築	<p>(1) 保護者との連携を進め、信頼を構築するため、生徒の状況や学校の対応などを適切に周知する</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見やすいHPづくりを検討・リニューアル <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> HPのリニューアルの実施 スマートフォンでも見やすいHPへの対応 <p>(2) 地域との連携を図り、信頼を構築するため、学校や生徒の取り組みをわかりやすく伝える方法を検討する</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> こまめなHPの更新、特色ある取り組みの報道機関への資料提供 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> HPの更新回数 年間36回以上、報道機関への資料提供年間8回以上 	<p>ホームページの全面リニューアルの実施。スマートフォン・タブレットでも見やすいHPへと改善。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月以降のHP更新回数42回 報道機関 新聞掲載 中日新聞5回・朝日新聞2回・伊勢新聞2回 テレビ 2回 ラジオ 1回 	
働きやすい職場環境づくり	<p>(1) 信頼される学校であるための行動計画を実施するための具体的な取組を検討し、計画に反映する。</p> <p>【活動指標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 信頼向上委員会 5回実施 コンプライアンスチェック 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼向上委員会での検討を3回以上 ・コンプライアンスセルフチェックの見直し ・定期的なコンプライアンスセルフチェックの実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートで「教職員は、専門的な知識が豊富で、授業内容が信頼できる。」及び「教職員は、生徒が相談したときに、親切に応じてくれる。」及び「教職員は、生徒達の進路希望実現に向け熱心に取り組んでいる。」の各項目で、満足度80%以上 <p>(2) 三重県部活動ガイドラインに沿った適切な部活動の実施、及び働き方の改善を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月全部活動が活動計画書を作成、提出 ・定時退校日に定時に退校できた職員の割合 70%以上 ・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 100% ・放課後開催された会議が、60分以内に終了する割合を60%以上 ・夏季休業中に学校閉校日を2日設定 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間を、一人あたり月に13時間以下 ・年360時間を超える時間外労働者数 0人 ・月45時間を超える時間外労働者数 0人(延べ人数) ・一人当たりの年間休暇取得日数16日以上 <p>(3) 共有備品の見直しや点検を行う</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属不明物品の整理整頓 ・備品の点検、更新 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型式の古い備品の新規入れ替え3種類以上 	<p>クを見直し、2回のグループワークを実施。</p> <p>「教職員は、専門的な知識が豊富で、授業内容が信頼できる。」89.9%</p> <p>「教職員は、生徒が相談したときに、親切に応じてくれる。」91.6%</p> <p>「教職員は、生徒達の進路希望実現に向け熱心に取り組んでいる。」93.6%</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部活動の計画書の提出100% ・定時退校できた教員84.9% ・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 99.6% ・放課後開催された会議が、60分以内に終了する割合 49% ・夏季休業中に学校閉校日を2日設定 ・時間外労働時間を、一人あたり月に19.9時間 ・年360時間を超える時間外労働者数 5人 ・月45時間を超える時間外労働者数 23人 ・一人当たりの年間休暇取得日数 16.1時間 <p>(※12月末現在)</p> <p>(3)</p> <p>大職員室ロッカー・校内チャイム・職員室作業机・生徒用ロッカーなどを更新</p>	
<p>事務職員と教員の連携による学校運営</p>	<p>事務職員と教員が連携できる環境づくりを進める。</p> <p>(1) 高品質な業務の提供 業務効率化・生産性の向上のため情報機器等の利活用による情報共有等の強化を図るとともに、その環境整備を行う。</p> <p>(2) 適切な事務処理の実施 チェック機能の強化・充実を図るとともに、報告・相談しやすい風土づくりに努める。</p> <p>(3) 来校者等の立場に立った接客対応(相手が安心する窓口・電話対応)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室等の情報共有等の方策の検討 ・主務者が相手側の立場に立った資料作成等を徹底し、主務 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有サーバー等の設置：設置が完了し、日常的に情報の共有が可能となるなど、事務の効率化に繋がっている。 ・重大な危機の発生：0件 ・苦情件数：0件 	

	<p>者以外の職員によるチェックを確実に実施するとともに、ホウレンソウの日常化の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務職員・教員は窓口・電話対応時に相手方の表情や声の調子等にも気を配った対応を実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有サーバー等の設置 ・不適切な対応による重大な危機の発生：0件 ・生徒・保護者・来校者等からの事務対応にかかる苦情件数が0件 		
--	---	--	--

改善課題

- ・学校の課題と情報を共有方法について、全員で集まる機会ではなく、部会・学年会・企画委員会などを活用する方法へ切り替える必要がある。
- ・保護者・地域との連携の一つのツールとして、HPのリニューアルを行ったが、更新内容に偏りがあるため、多くの教員に更新の意識をもつ必要がある。
- ・ICTの活用は、ますます求められるようになる。生徒の活用について、次年度は指標などを設定する必要がある。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新や報道機関への情報提供等について、その対象を考慮して効果的な広報活動を行うことで、地域への発信を進めていくことが大切である。 ・概ねの目標を達成していると感じられることから、新しい視点も取り入れながらステップアップを考えた目標設定をし、教育活動をさらなる発展につなげてほしい。
----------------------------	---

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で縮小していた避難訓練等の行事活動について、その効果を踏まえて実りのあるものとして取り組むべきである。 ・ICT活用について、授業を含めて効果的な活用方法などの研修を充実させることで、生徒の学習向上につなげる必要がある。 ・SNS上でのトラブルが増えている中、ICTを活用する中でマナーとリスクマネジメントを継続してしっかりと教育していく必要がある。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが興味を持ちやすく改善されたので、今後の情報提供等の更新時においても、遅滞なく情報をまんべんなく発信していく。また、それに合わせて、情報を提供するターゲット毎に他の手段も検討していく。 ・働きやすい職場環境づくりについて、教職員がゆとりをもって業務が行えるように少しでも改善していく。 ・校舎を含めて、備品などの老朽化が目につくため、それらの更新を進めていくことで学習環境の改善につながっていく。 ・保護者の経費負担削減については常に考えていく事柄であるので、修学旅行の行先等について見直しを進める必要がある。